



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '98 6月号



炉ばた話の会

いろり^{いろり}ろばた^{ろばた}も知らない子どもたち、大人たちが、炉端に続く板の間に、それぞれ好きな格好で座っていて、目は、みんな、昔ばなしの語り手のほうに向けられています。

昔ばなしはそんな力を持っているのです。

博物館の中に移築されている民家の炉端で昔ばなしを聞いたり語ったりできたらいいのにと前々から思っていました。それが実現しました。

毎月第3日曜日午前10時30分から11時30分まで。3話ないし4話を2回続けて話します。語り手は2・3人。

はじめるにあたって心配だったのは、果たして語り手が来てくれるだろうかということでした。けれども図書館や公民館で語っている方たちが集まって来てくださいました。みんな、お話が大好きで、お話を大事にしている方たちばかりです。耳から聞いた話、採録された話、再話された話のなかから語りたかったものを覚えて話します。

昔ばなしの中に詰まっている、昔の人の心や思い、昔の生活、社会、そして後世の人たちに伝えようとしたこと等々、感じ取ってくださったらと思っています。昔ばなしを語っていると、人間も自然の中の一部なのだということを実感します。そんな昔ばなしを多くの方々に聞いていただきたいと思っています。始まったばかりの”ろばたばなし”を、長く続けるために宣伝広報活動は勿論ですが、大勢の方々が聞きに来てくださることがいちばんです。平塚に伝わっている伝説も、毎回一つ、プログラムの中に入れてあります。

毎月、第3日曜日、午前10時30分と11時
博物館1階ろばたでお待ちしております。

(ろばたばなしの会 大貫祐子)

* 今月のろばたばなしは、6月21日(日)です。この渡(平塚)、うりこ姫(東北地方)、七夕さんの話(長野)、馬のたまご(岡山)の4話を予定しています。

新刊図書案内

今年新たに刊行された図書をご案内します。これらの図書は博物館 1 階受付で販売しております。また、郵送をご希望の方は図書の代金と送料を現金書留または郵便為替でお送り下さい。代金、送料については博物館管理担当までお問い合わせ下さい。

平塚市博物館年報第 21 号

(400円)

・平成 8 年度の活動報告集。
博物館の活動がこの一冊の中に収められています。ぜひご一読を。

博物館研究報告

自然と文化第 21 号

(650円)

- ・遺跡発見報告—仮称上宗高遺跡について
- ・平塚傷兵工場—そこで働く人々、調査日誌から—
- ・平塚市における夜鳴く虫の分布
- ・太陽黒点第 22 活動期の概要
- ・1997年の太陽黒点

ガイドブック 16

石ころのふるさと

—相模川・酒匂川編— (900円)

何気なく見過ごしている川原の石や、海辺の石にも、それぞれの由来があり、良く観察すればいろいろな石ころの声を聞くことができます。このガイドブックを手に、流域の石ころの故郷を考えていただければ幸いです。

ガイドブック 16

石ころのふるさと

—相模川・酒匂川編—



平塚市博物館

平塚市博物館資料 47

おしゃもつつあん

—平塚市上吉沢台の民俗— (700円)

私たちのおじいさんやおばあさんが若い頃の暮らしはどんな風だったのでしょうか。お年寄りから昔語りを聞き集め、高度成長期以前の農家の暮らしをまとめたのがこの本です。話の舞台は上吉沢の台という集落です。台には古い集落ならではの様々なしきたりやならわしが受け継がれています。今と比べればはるかに貧しくても、たくましく生きてきた人々の知恵を感じ取っていただければ幸いです。



おしゃもつつあん祭礼

寄贈品コーナー

「平塚の空襲と戦災展」

平塚が受けた戦争被害の記録と当時の資料を公開します。

会期：6月12日（金）～7月30日（木）

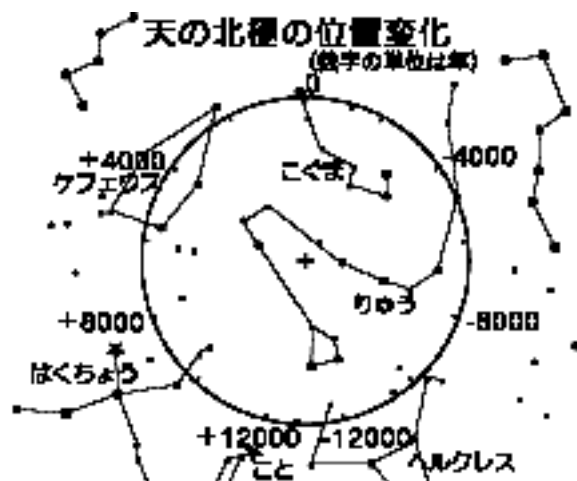
昭和20年7月16日から17日未明に掛け、平塚市はアメリカ軍による大規模な空襲を受けます。B29爆撃機132機によるこの攻撃は、一晩で44万7,716本もの焼夷弾が投下されます。その数は、一人あたり8.2本におよび、全国で二番目に多い数になりました。この空襲による被害は本宿・新宿・須賀・馬入の旧市街をはじめ、高根・山下・南原・中原・真

土・四之宮・横内・入野・長持、大磯町大磯・寺坂、茅ヶ崎柳島・中島・円蔵・赤羽などの広範囲におよび、少なくとも死者は300人以上、旧市街地では全戸数の70%が焼失しています。今回、戦時下の平塚や空襲に関する資料を展示し、改めて空襲の恐ろしさを実感していただきたいと思います。

プラネタリウム新番組

天の北極

5月2日～7月12日



星空は北極星を中心に毎日ひとまわりすると言われます。しかし実際は北極星もほんとうの中心からわずかにはずれていて、空に目印があれば肉眼でもわかるくらい動いています。この、「ほんとうの中心」を「天の北極」と言います。

天の北極は現在は北極星から角度にしてわずか46'の位置にありますが、これも26,000年という長い周期で星空に半径23.4°の円を描くように移動します。そこで、星の動きの中心の目安は、今の北極星から、3000年後にはケフェウス座、8000年後にははくちょう

座の星々になります。

こうした現象は「歳差(さいさ)」と呼ばれます。歳差は天の赤道と黄道の交点も変えるので、今春キトラ古墳で星図が発見された折、その成立年代にからんで交点の位置が注目されました(星図が不正確だったため判定できませんでしたが)。

今月のプラネタリウムでは、5000年前から12000年後までの星空を再現し、歳差現象を説明しています。

博物館カレンダー

6月の行事予定

7	日		民俗探訪会	(上吉沢)
12	金		古文書講読会	(野内)
13	土		天体観察会「星の動き」	(館内)
14	日	○	こども観察会 地質調査会	(土屋) (館内)
17	水		裏打ちの会	(館内)
19	金		古文書講読会	(館内)
20	土		地質調査会 平塚の空襲と戦災を記録する会	(館外) (館内)
21	日	◎	炬ばたばなしの会 古代遺跡を探す会	(館内) (館外)
24	水		地質調査会	(館内)
25	木		石仏を調べる会	(館内)
26	金		古文書講読会	(館内)
28	日		相模川の生い立ちを探る会	(白石沢)

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

●寄贈品コーナー

「平塚の空襲と戦災展」

平塚が受けた戦争被害の記録と当時の資料を公開します。

・会期：6月12日(金)～7月30日(木)

●プラネタリウム

「天の北極」

・期間：5月2日(土)～7月12日(日)

・投影日時：土日曜日の午前11時と午後2時

参加者募集

●こども観察会

水辺の動物の観察

期日：6月14日(日)

時間：午前9時～午後2時

場所：土屋(土屋橋付近)

申込：6月5日までに往復ハガキで。

●自然観察会

雑木林の動植物の観察

期日：7月12日(日)

時間：午前9時半～午後3時

場所：土屋(愛宕神社付近)

申込：6月30日までに往復ハガキで。

7月の行事予定

3	金		古文書講読会	(館内)
4	土		地質調査会	(野外)
5	日		民俗探訪会	(土屋)
9	木		石仏を調べる会	(野外)
10	金		古文書講読会	(館内)
11	土	◎	漂着物を拾う会	(館外)
12	日	○	自然観察会 地質調査会	(土屋) (野外)
15	水		裏打ちの会 地質調査会	(館外) (館内)
17	金		古文書講読会	(館内)
18	土		平塚の空襲と戦災を記録する会 相模川の生い立ちを探る会 夏期特別展「相模国府とその世界」 8月30日まで プラネタリウム「流星雨の降る夜」 9月6日まで	(館内) (富士山)
19	日	◎	古代遺跡を探す会 炬ばたばなしの会	(館外) (館内)
23	木		石仏を調べる会	(館内)
24	金		古文書講読会 自由研究相談会	(館内) (館内)
26	土		自然観察ゼミナール	
30	木		自然観察入門講座「街の石材」	
31	金			

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

●炬ばたばなしの会

期日：6月21日(日)

時間：10時30分と11時の2回 参加自由

場所：博物館1階展示室の民家内

内容：

●休館のお知らせ

博物館全館のガス

殺虫消毒のため休

館します。この間は博物館周囲に立ち

入らないで下さい。

期間：6月2日(火)～11日(木)



あなたと博物館

23巻 3号 通巻256号 発行 平塚市博物館 3000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:31-3949